



平成 29 年 5 月 30 日
九州地方整備局

立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 8 報】

～理解を深めて頂くための取り組み～

1. 理解を深めて頂くための取り組み

○「立野ダム建設に係る技術委員会」（活断層の専門家や総合土砂管理の専門家などの各分野の第一人者で構成）において、流木や巨石により洪水調節機能に支障がでるような影響はないことを含め、公開の場で議論いただき、「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能」等との結論を得ました。

○この委員会の結論について、地元の方々のご理解を深めて頂くための取り組みを継続的に行っておりますので、その状況をお知らせいたします。

【最近の取り組み】

1) 熊本地震による被災状況と技術委員会での検討内容や現在までの復旧状況について、5月15日に熊本県議会議員の皆様、5月22日南阿蘇村長にダム建設予定地周辺の現地説明を行いました。

（別紙 1、2）

2) 5月23日から6月6日まで、熊本市内「くまもと県民交流会館パレア」にて、平成24年7月九州北部豪雨災害から5年間の歩みを紹介する「白川治水パネル展」が開催され、その中で、立野ダム建設事業に関する説明等を紹介するパネルを展示しています。

（別紙 3）

○今後も県や市町村と連携し、ご理解を深めて頂くための取り組みを行っていきます。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

河川部 河川計画課長

TEL : 092-471-6331（代表）

坂井 佑介（内線 3611）

熊本県議会議員の皆さまへの現地説明状況

別紙 1

○5月15日に、熊本県議会建設常任委員会の議員(6名)及び阿蘇郡市選出県議会議員(2名)の皆さまに、立野ダム建設予定地周辺を視察していただきながら復旧状況等についてご理解をいただきました。



ダムサイト周辺の復旧状況の視察の様子



基礎岩盤の視察の様子

南阿蘇村の皆さまへの現地説明状況

別紙 2

○5月22日に、南阿蘇村長及び職員の皆さまに、立野ダム建設予定地周辺を視察していただきながら復旧状況等についてご理解をいただきました。

○南阿蘇村長からは、「地域の洪水防止のため安全なダムを造って頂きたい。あわせて、村の復興にご支援ご協力をお願いしたい。」とのご意見をいただきました。



地表亀裂箇所視察の様子



ダムサイト視察の様子

治水パネルの展示

別紙 3

○平成24年7月九州北部豪雨災害から5年間の歩みを紹介する「白川治水パネル展」を開催しています。その中で、立野ダム建設事業に関する説明や熊本地震後の技術委員会の結論についても紹介しています。

【開催場所・期間】

◇くまもと県民交流会館パレア
9階ロビー

住所: 熊本市中央区手取本町8番9号

期間: 平成29年5月23日(火)～6月6日(火)

9時00分～21時00分(期間中は休館無し)



パネル展の状況

(参 考)

「平成 28 年熊本地震」を受け、立野ダム工事事務所では、現場復旧や地元の方々のご理解を深めていただくための様々な取り組みを行っています。

これまでの取り組みは以下のとおりです。今後、随時更新・記者発表してまいります。

【熊本地震後の立野ダム建設予定地周辺の復旧状況について】

- ・ 7 月 6 日 河川内にアプローチするための道路の復旧完了
- ・ 11 月 11 日 ダムサイト上流の準備工事用仮橋の復旧完了
- ・ 11 月 15 日 復旧したダムサイト上流の工事用仮橋を活用し、左岸工事用道路工事に着手
- ・ 12 月 27 日 左岸工事用道路及び仮排水路トンネルの復旧に必要な左岸斜面の復旧工事に着手
- ・ 2 月 22 日 ダム本体工事及び復旧工事に利用する工事用仮橋工事に着手
- ・ 3 月 27 日 左岸斜面对策工に着手

【立野ダム建設に係る技術委員会について】

○学識者からなる「立野ダム建設に係る技術委員会」を設置し、平成 28 年熊本地震後の立野ダム建設に関し、技術的な確認・評価に関する検討を公開の場で議論いただきました。

○8 月 17 日の委員会で「熊本地震後も立野ダムの建設に支障となる技術的な課題はなく、立野ダムの建設は技術的に十分可能であると考えられる」等との結論を得ました。

【理解を深めて頂くための取り組みについて】

○委員会の結論を「立野ダム建設に係る技術委員会報告書（概要版）」としてわかりやすくとりまとめ、9 月 16 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 20 日より白川流域の 21 箇所で設置・配布しています。

○「立野ダム建設に係る技術委員会報告書」を 9 月 23 日に立野ダム工事事務所 HP に掲載しました。また 9 月 26 日より白川流域の 21 箇所で閲覧しています。

○委員会の結論に関する問合せ窓口を設置しました。

※問合せ窓口：九州地方整備局 立野ダム工事事務所 調査設計課
TEL：096-385-0707（代表）
E-MAIL：tateno-otazune@qsr.mlit.go.jp

○委員会の結論をまとめた概要版を用いて立野ダム建設予定地周辺の現地説明を行っています。

- ・ 9 月 13 日 南阿蘇村（村長及び職員、村議会の全ての議員の皆さま） 37 名
- ・ 10 月 4 日 菊陽町（町長及び職員、町議会の議員、区長の皆さま） 38 名
- ・ 10 月 7 日 大津町（町長及び職員、町議会の全ての議員の皆さま） 35 名
- ・ 10 月 12 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 3 名
- ・ 10 月 13 日 景観、環境保全等に関する学識者 1 名
- ・ 10 月 14 日 阿蘇市（市長及び職員の皆さま） 3 名
- ・ 10 月 18 日 熊本県（知事及び職員の皆さま） 6 名
- ・ 11 月 15 日 阿蘇火山博物館学術顧問
- ・ 11 月 25 日 熊本県（県議会建設常任委員会の全ての議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、職員の皆さま） 18 名
- ・ 11 月 27 日 熊本市（市長及び職員の皆さま） 9 名
- ・ 12 月 7 日 景観、環境保全等に関する学識者の皆さま 7 名

(参 考)

- ・ 12 月 10 日 熊本青年会議所等の皆さま 約 50 名
- ・ 5 月 15 日 熊本県（県議会建設常任委員会の議員及び阿蘇郡市選出県議会議員、
職員の皆さま）18 名
- ・ 5 月 22 日 南阿蘇村（村長及び職員の皆さま） 5 名

○立野ダム建設予定地の現地状況や工事状況が確認できる眺望場所に説明パネルを設置しました。

○治水パネル展等において、立野ダムに関するパネルを展示しました。

- ・ 11 月 5 日～18 日 白川地域防災センター 白川わくわくランド（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11 月 7 日～11 日 熊本県庁（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11 月 7 日～18 日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 11 月 23 日～12 月 1 日 おおづ図書館（大津町：治水パネル展）
- ・ 12 月 5 日～16 日 杉並木公園管理センター（菊陽町：治水パネル展）
- ・ 1 月 29 日 くまもと森都心プラザ（熊本市：治水パネル展）
- ・ 3 月 5 日 熊本市国際交流会館（熊本市：防災・減災シンポジウム）
- ・ 5 月 23 日～6 月 6 日 くまもと県民交流会館パレア（熊本市：白川治水パネル展）

※これまでの取り組みは、

「地震後の立野ダムに関わる区域の状況について【第 1 報】～【第 6 報】」、

「立野ダムに関わる最近の取り組みについて【第 1 報】～【第 7 報】」

「平成 28 年熊本地震から 1 年～復旧の歩みをまとめました～＜河川事業関係＞」

で公表しています。